

2017年6月9日
イオン株式会社**6月は環境月間。イオンはお客さまとともに、豊かな環境を未来へつなぎます****全国約1,500店舗で「イオン ふるさとの森づくり」植栽帯のメンテナンス
「イオン 東北復興ふるさとの森づくり」を5カ所を実施**

イオンの植樹は25周年

イオンは、昨年10月からの1年間を「イオンの植樹25周年」として、グループをあげてさまざまな取り組みを実施しています。

6月の環境月間においては、6月11日（日）の「イオン・デー」※¹を中心に約1,500店舗で「イオンの環境・社会貢献月間 クリーン&グリーン活動」として「イオン ふるさとの森づくり」植栽帯の清掃・除草などの活動を行います。

毎月11日の「イオン・デー」には、「クリーン&グリーン活動」として従業員が店舗周辺や公園、河川敷、公共施設などの清掃活動を行っています。6月については、環境月間にあわせ、「イオンの環境・社会貢献月間 クリーン&グリーン活動」として近隣にお住まいのお客さまにもご参加いただき、「イオン ふるさとの森づくり」植栽帯の清掃・除草活動を実施します。

6月は植樹活動も積極的に行います。東北地方においては、津波によって失われた緑を再生するため、沿岸部を中心に2012年から10年にわたって30万本の木を植える「イオン 東北復興ふるさとの森づくり」を行っています。本年は岩手・宮城・福島³の14カ所で実施する予定で、このうち5カ所での植樹を6月に集中して行います。

また、6月30日に第1期オープンを迎えるイオンモール神戸南では、店舗周辺にお客さまとともに木を植える「イオン ふるさとの森づくり」植樹祭を開催します。

イオンは、豊かな自然環境を未来につなぐため、これからも積極的に環境保全活動を行ってまいります。

【6月の「イオンの環境・社会貢献月間 クリーン&グリーン活動」実施概要】

実施日： 6月11日（日）（実施日が異なる店舗もあります）

店舗： 全国のグループ店舗 約1,500店舗

内容： 「イオン ふるさとの森づくり」の植栽帯の清掃・除草

【「イオン 東北復興ふるさとの森づくり」6月実施予定】

6月3日（土）「仙台市荒浜地区海岸防災林植樹」 宮城県 仙台市（田ノ神 国有林）

6月4日（日）「第29回 森は海の恋人植樹祭」 岩手県 一関市

6月8日（木）「小鍬大明神 鎮守の森植樹」 岩手県 大槌町（小鍬大明神）

6月18日（日）「高田松原再生植樹」 岩手県 陸前高田市（高田松原）

6月24日（土）「新地町埴浜防災緑地植樹」 福島県 新地町

【「イオン ふるさとの森づくり」6月実施予定】

実施日： 6月25日（日）

店舗： イオンモール神戸南（6月30日 第1期オープン）

※1 2001年の社名変更（ジャスコ㈱からイオン㈱へ）を機に、毎月11日（いい日）を「イオン・デー」とし、イオンの全従業員が基本理念、および、その道しるべである「イオン宣言」を再確認し、良き企業市民として地域への貢献活動を行う日としています。



木を植えています

私たちはイオンです

【ご参考】

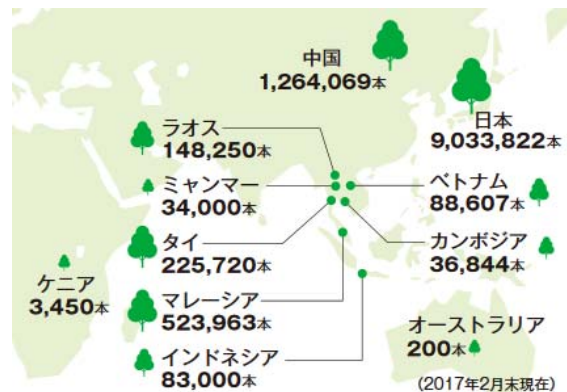
【イオンの植樹活動について】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」ことを基本理念とするイオンは、経済成長の一方で大気汚染などの公害が社会問題となる中、自然の恵みを失うことは豊かさの根源を失うことであるとの危機感を抱き、地域に根ざす小売業としてできることを模索しました。そして1991年、マレーシアのジャスコマラッカ店（現 イオンマラッカショッピングセンター）の開店から、新店舗がオープンする際に近隣のお客さまとともに敷地内に植樹を行う「イオン ふるさとの森づくり」をスタートしました。国内では翌年、三重県のジャスコ新久居店（現 イオン久居店）から開始しています。

また、1990年に設立した財団法人イオングループ環境財団（現 公益財団法人イオン環境財団）は、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目指し、アジアを中心とした世界各国で、地域のボランティアの方々と協力し植樹活動に取り組んでいます。

2013年11月には植樹本数が累計で1,000万本を突破し、これを機に次の1,000万本に向けて、木を「植える」「育てる」「活かす」取り組み「**森の循環プログラム**」をスタートしています。

25年の歳月をかけ、イオンが植樹した11カ国での累計本数は2017年2月末現在で、1,144万本を超えました。



イオンの「森の循環プログラム」

イオンは2013年11月に植樹本数が累計1,000万本を超えたことを機に、「植える」「育てる」「活かす」活動として「森の循環プログラム」をスタートしました。「イオンの植樹25周年」では、同プログラムに基づき、森の循環がもたらす自然の恵みを私たちの暮らしに役立てるためさまざまな取り組みを行います。



イオン
森の循環プログラム
「植える」「育てる」「活かす」

- 《植える》地域のため、未来のために、次の1,000万本に向けて木を植え続けていきます
- 《育てる》森を育て、森の循環がもたらす恵みによって、人々の暮らしを豊かにすることを目指します
- 《活かす》適切に管理された森から生産された木材を、商品原料や店舗の資材に活用していきます

■クリーン&グリーン活動

イオンは店舗周辺の町並みの美化に積極的に取り組んでいます。1991年から実施している「クリーン&グリーン活動」は、従業員がボランティアで店舗付近の公園や河川敷、公共施設などを清掃する取り組みで、2001年からは毎月11日の「イオン・デー」に実施しています。



2016年10月
イオンモール幕張新都心での活動

【植樹活動のあゆみ】

- 1965年 岡崎オカダヤ開店時に1,000本の桜を岡崎市に寄贈
- 1989年 イオングループ1%クラブ(現 公益財団法人イオンワンパーセントクラブ)発足
企業市民として環境保全・社会貢献活動を推進するため、グループ主要各社が税引き前利益の1%を拠出し、活動しています。
- 1990年 財団法人イオングループ環境財団(現 公益財団法人イオン環境財団)設立
- 1991年 「イオン ふるさとの森づくり」スタート
マレーシア・ジャスコマラッカ店(現 イオンマラッカショッピングセンター)開店以来、新店オープンの際に地域に自生する木々を植樹しています。
- 1998年 「万里の長城・森の再生」プロジェクトスタート
2010年には、累計植樹本数が100万本に達しました。
- 2010年 イオン生物多様性方針策定
事業活動における生態系への影響を把握し、お客さまや行政、NGOなどと連携しながら、生態系への影響の低減・保全活動を積極的に行っています。
- 2011年 イオンサステナビリティ基本方針策定
「低炭素社会の実現」「生物多様性の保全」「資源の有効利用」「社会的課題への対応」を4つの重点課題とし、それぞれに指標を設けて進捗管理を行っています。
- 2012年 「復興への願いをカタチに」30万本植樹スタート
- 2013年 植樹本数1,000万本突破
- 2014年 木を「植える」「育てる」「活かす」、「森の循環プログラム」スタート
- 2016年 「イオンの植樹25周年」

【公益財団法人イオン環境財団について】

イオン環境財団(理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役)は「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、21世紀が水と緑の世紀になることを願い、1990年に設立されました。設立以来、環境活動に取り組む団体への助成や、国内外での植樹活動、生物多様性への取り組み、環境教育などを主な事業として、さまざまな活動を継続しています。同財団の国内外での累計植樹本数は、2017年3月末現在、217万本を超えています。(ホームページ <http://www.aeon.info/ef/>)

[2017年の植樹活動]

海外

- ・2017年 6月10日(土) カンボジア プノンペン植樹
- ・2017年 7月 8日(土) ミャンマー ヤンゴン植樹
- ・2017年10月21日(土) 中国 北京市密雲植樹

国内

- ・2017年 7月 1日(土) 北海道 厚真町植樹
- ・2017年 9月16日(土) 福島県 いわき市植樹
- ・2017年10月 7日(土) 宮城県 亘理町植樹
- ・2017年11月11日(土) 大分県 竹田市植樹
- ・2017年11月25日(土) 千葉県 千葉市植樹
- ・2017年12月 2日(土) 沖縄県 糸満市平和記念公園植樹

【イオングループ 東北復興支援に関する植樹活動について】(イオン 心をつなぐプロジェクト)

イオンは、グループ従業員が一丸となり、さまざまな形で東北地域での環境・社会貢献活動に取り組んでいます。2012年からは労使一体で復興支援ボランティア活動などを進める「イオン 心をつなぐプロジェクト」を開始しています。10年間で被災地沿岸部に30万本を植樹する目標を掲げており、「イオン 東北復興ふるさとの森づくり」などを通じた植樹本数は、2017年2月末までに20万2,682本となりました。